

これまでインバウンド向けPR戦略に関して何度か寄稿してきた。そんな中、動画PRでの実証実験も含めたプロジェクトを始動させた。

今回、プロジェクト始動にあたりポイントとして留意したのは大枠で3点。

①海外での拡散が期待できること

②言語的な問題をクリアし、より伝わり易くする

③定番の映像演出を決め、動画拡散の際に順次製作する動画に連動性を持たせる

この3点から私は①と②に関して既に海外で認知と拡散実績がある「ゴンゾー」というパフォーマーをアサインした。彼は世界27カ国で放送されている「アジアゴットタレント」という番組に言葉を発せずタンバリン芸だけで出演し喝采を浴びた。彼の言葉を必要としないこのパフォーマンスは海外で話題となりその後もオファーが相次いでいる。そして③の対策としてPRする可能性があるインスタ映えする様な視覚的要素、体験ツアーなどの文化的要素、ショッピングなどの欲求型要素を共通して表現できる演出方法を事前に決め製作を始動させた。

撮影第一弾は、都内の訪日外国人が多い秋葉原、東京タワー、谷中銀座に行った。まずは作品完成前に、完成する動画の見込み外国

『インバウンドPR検証継続レポート①』

文 岸本公平

text by Kouhei Kishimoto

人ファンを作るのが目的だ。

狙いは的中だった。撮影中様々な国からの訪日客がゴンゾーの姿に気づき携帯でその様子を撮影していた。そしてその写真をSNSなどに上げていた事は言うまでもない。また、ゴンゾーのSNSへのアクセスが海外からあった事も確認できた。

完成した動画は各国で視聴可能な環境の下、今回獲得した訪日経験を持つ見込みファン、既存のゴンゾーの外国人ファンなどを中心に拡散を掛けベースとなる日本ファンを獲得することになる。

更に今後は海外のインフルエンサーとコラボレーションする事で拡散の相乗効果を狙った撮影や、外国人から認知されていない地方で撮影する事により幅広いインバウンド向けPR動画となる予定だ。



世界27カ国で放送されているTV番組「アジアゴットタレント」にタンバリン芸で出演し、喝采を浴びた「ゴンゾー」。



Profile

株式会社NEWTRAL代表取締役
HANABIプロジェクトプロデューサー
福岡県出身。日本大学中退後、テレビ番組制作会社入社。その後ディレクター、プロデューサーなどを経て、30歳の時株式会社NEWTRALを設立。メディアで学んだ企画やプロデュースの視点を生かし、企業のコンサルティングはもとより、地方創生事業やクールジャパン事業に取り組む。